

岐阜県立土岐商業高等学校

学 校 長 正 村 達 裕
 学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1
 電 話 0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校評議員の会（第2回）

2 会議の構成（敬称略／50音順）

| | | |
|-----|---------|--------------------|
| 評議員 | 安 藤 裕 美 | 土岐地区更生保護女性会理事 |
| | 犬 塚 和 世 | 元土岐商業高校育友会役員 |
| | 田 口 力 | 東海旅客鉄道（株） 土岐市駅長 |
| | 竹 下 啓 太 | 名古屋工学院専門学校メディア学部部長 |
| | 土 本 典 良 | 土岐市土岐口財産区議長 |

| | | |
|-----|---------|-----------|
| 学校側 | 校 長 | 正 村 達 裕 |
| | 教 頭 | 原 祐 一 |
| | 事 務 長 | 中 野 善 孝 |
| | 教 務 主 任 | 村 橋 昌 則 |
| | 生徒指導主事 | 澤 野 敏 勝 |
| | 進路指導主事 | 水 野 智 恵 美 |
| | （ 記 録 ） | 野 村 茉 椰 |

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 平成29年1月24日(火) 13:30 ～ 15:00

場 所 土岐商業高等学校 校長室

出席者 評議員5名 学校側7名 計12名が参加

*学校長の挨拶後、本校の教育について説明し、意見交換を行った。

5 会議の概要

テーマ（１）本校の教育について（本年度の成果と課題）

各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部）より本年度の成果と課題についての説明を実施。

（１）教務部

（ア）学力の定着

- ①生徒の家庭学習に対する実態把握
- ②職員全員による生徒参加型授業の研究：研究授業と授業参観の実施・生徒アンケート
- ③資格取得状況：現３年生 全商協会３種目１級以上 １０５名

（イ）広報活動

- ①高校説明会：中学校２２校を訪問
- ②中学生一日体験入学：参加者の増加
- ③東濃西部地区全公立高等学校合同説明会・相談会

（ウ）教育課程の確認

（エ）パソコンの更新

（２）生徒指導部

- （ア）交通事故の現状について：件数の大幅な減少
- （イ）遅刻について：２００人を超えないよう呼びかけを行っている
- （ウ）身だしなみ・挨拶：来年度より３学年とも同じ制服になるため指導の仕方を変えていく
- （エ）問題行動の現状について：SNSに関しては地域差があるのではないかとみている
- （オ）教育相談の現状について：第３回アンケートに基づいて対応中
- （カ）部活動の成績について

（３）進路指導部

（ア）成果

- ①就職者が４７％と例年より増加したが、事務職・販売職の有効求人数が増加したため、ほぼ希望の職種での内定も達成した。
- ②倍率に左右されずに入りたい企業の試験に積極的にチャレンジできた。
- ③南山大学には推薦により５人合格した。５０％以上が進学希望者であり、地元大学にも多くの生徒が合格している。
- ④しっかりと学校を調べて明確な志望理由を持つものが多く、受験対策も計画的にできた。

（ウ）次年度の課題

- ①親の希望を優先するものが増加している。自分の意思で進路を決定する力をつける必要性を感じる。
- ②特に国語力、英語力をつけることが必要である。時事問題への関心を高め、検定試験合格を目標に取り組みせたい。
- ③自宅からの通学を希望するものが多く、入れる大学で満足してチャレンジしたがない。
- ④求人状況がよくなったことで取り組みに甘さが見られる。

テーマ（２）：意見交換・質疑応答

意見１：学校祭に来たが活気があって内容も素晴らしい。みんな青春しているなど感じた。検定等の学習も真剣に取り組んでいるのでいい学校だと思う

意見２：以前授業参観をさせてもらったが、生徒の授業態度に感心した。

質問１：卒業生が部活動に来るのはよくないのか。そういうつながりを大切にして伝統をつくってきた学校なのではないかと思う。

回答１：どのような状況かはっきりは分からないが、顧問との連絡・関係作りが必要なのではないかと思う。顧問の先生とコミュニケーションをとりながらやっていくといいのではないか。吹奏楽部などのように卒業生が支えてくれている部活もある。

意見３：遅刻が大幅に減少していて、先生方の指導の成果が出ているのだと感じた。そしてそれが検定合格や部活動での活躍などその他の成果にもつながっているのだと思う。これらの成果をもっと中学生などにも発信していくべきではないか。

意見４：JRさわやかウォーキングでは、貴校の協力により、土岐商のショップやチラシなどによって活動全体がマンネリにならず、助かっている。最近、挨拶の声が以前より小さくなったと感じている。

意見５：全国大会に出場することで宣伝にもなり、学校だけでなく地域の力になる。全国に土岐商を発信して行ってほしい。この地域からオリンピック選手になるような方が出てくれることを期待している。

質問２：土岐商のイメージはどんなイメージですか。

回答２：大学に行きたい子にとっては選択肢にあまり含まれない。スポーツをやりたい子が行く学校というイメージ。

回答３：実際は半数以上が進学しているにもかかわらず、進学イメージが低い。

回答４：進学校にも劣らないほどの進学成績、進学先を持っているにもかかわらずそれを周知されていない。

意見６：中学校の先生への説明会等が開けるといいのではないかと考えている。

意見 7 : 普通科傾向がある。

質問 3 : 中学校への広報活動についてなにかアドバイス等ないでしょうか。

回答 5 : 資格を取って何につながるのかというところまで中学生に伝えられるといい。この資格を取るとどの大学の推薦がとりやすい、あの資格を持っているとあの職業に就けるなどのように具体的に伝えてほしい。

質問 4 : 選挙権についての指導はどうなのか。

回答 6 : 部活の試合等で当日行けない生徒には期日前投票を促したり、選挙管理委員会の方に来校していただき説明を行ってもらったりしました。